

PTA会報

No.45 2006.12

嵩山



松江東高

目次

PTA会長挨拶	1
校長挨拶	2
第48回中国・四国地区高等学校 PTA連合大会報告	4
部活動報告	8
新任教職員自己紹介	10
PTA会務報告	13
編集後記	14





今問われる親子の対話の重要性

PTA会長 佐々木 博 章

私はこの度PTA会長を拝命することになりました。二年前副会長を経験させて頂いていましたが、その責任の重圧を感じているところで、皆さんのご意見・ご希望をPTA活動に生かす。皆さんのご意見・ご希望をPTA活動に生かし、皆様に関心を持って頂けるようなPTAにしたいと思えます。皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

さて、最近親子関係に係わる悲しい事件が頻繁に起こっています。親が我が子を危ぶめるとか、子供が我が家を放火して兄弟母親を焼死させる等の事件が多発しています。昔では尊属殺人は他の殺人より罪が重くなるとされていたこともあり、考えられないことです。

保護者は親として、大人としての自覚を十二分に持ち、我が子の教育にあたるのが、今更ながら求められています。このような社会情勢のなかで、PTAとして家庭の在り方、親としての在り方、家庭教育の在り方に積極的に取り組むことが出来る組織ではありますが、果たして十分に機能しているのだろうかと思えます。

この度私は、八月二十三日から二十五日まで、全国高等学校PTA連合大会秋田大会が開催され、PTAを代表して参加させて頂きました。

学識経験者の貴重な講演や他県のPTAの活動報告等、大変参考になるお話を聞く機会を得ました。分科会では第四分会「家庭教育とPTA」に出席しました。特に、分科会の概要は次の通りでありました。

最近の家庭をめぐる殺傷事件は、少なくとも親子の対話（心と心が向き合った対話）が成されていたら避けられたことではないかと、親子の対話の重要性が力説されました。特に高校生の時期こそ親子の対話が必要であり、避けずに努力すること。たとえ対話がなくても毎日一緒に家族で食卓を囲むことも必要である。携帯電話でメールを交換することもよいのでは、返信がなくても親のメッセージは届けられる。また親子の会話が難しい場合は、夫婦が仲良くして会話を絶やさないような家庭を築いていけば、きっと子供もそんなに間違った方向へは向かない

いこのことです。色々参考となる話ではあります。が、実際易しいようで実行はなかなか難しいかもしれません。

私の高校生時代、正直言って父親と会話は殆どありませんでした。会話をしようとも思いませんでした。母親とは話をしましたが、父親は仕事で忙しいし、なかなか一緒に食事をする機会も少なく、話す話題もなく、自然と避ける存在でした。しかし父親には威厳があり、一生懸命仕事して頑張っている姿を見てはいました。「子供は親の背中を見て育つ」とかいますが、父親との関係はそういうものだと思っていました。

現在は生活が豊かとなり、努力しなくても色々な物が手に入るような時代になり、また民主主義の平等な社会で自由に成り過ぎ、家庭での上下関係を疎かにする風潮があり、父親の威厳が落ちてきています。父親軽視による対話無用論も囁かれる時代です。親子の対話は幼少の頃からの継続的なものです。どうか父親の威厳を高めるのではなく、子供に尊敬される父親を目指して、諦めずに対話の努力をしようではありませんか。



P T A 研修旅行 『閑谷学校』を訪ねて

校長 山 田 忠 男

今年の P T A 研修旅行は十月十四日（土）七時三十分に東高前に集合し、総勢二十一名という少人数で出発しました。目的地は、閑谷学校・備前焼の窯だし市・倉敷美観地区巡り、という少々贅沢なメニューでしたが、幸い天気恵まれ、将に忙中間有りの素晴らしい一日と成りました。特に、閑谷学校は日本で最初の庶民の学校と言うことで、何時かは行ってみたいと思っていました。期待以上の収穫がありました。今いろいろ教育問題が取りざたされる中で、学校の原点または基本を教えられる思いでした。まず、バスに揺られながら岡山県の東部、もう少し行けば兵庫県という山の中を、谷間を抜ける所に突如そんなに広くない盆地が開け、まだ紅葉期には早く木々が鬱蒼と繁るなか、如何にもじっくり学び学問をする環境を感じさせる所でした。

今年度の P T A 研修旅行は十月十四日（土）七時三十分に東高前に集合し、総勢二十一名という少人数で出発しました。目的地は、閑谷学校・備前焼の窯だし市・倉敷美観地区巡り、という少々贅沢なメニューでしたが、幸い天気恵まれ、将に忙中間有りの素晴らしい一日と成りました。特に、閑谷学校は日本で最初の庶民の学校と言うことで、何時かは行ってみたいと思っていました。期待以上の収穫がありました。今いろいろ教育問題が取りざたされる中で、学校の原点または基本を教えられる思いでした。まず、バスに揺られながら岡山県の東部、もう少し行けば兵庫県という山の中を、谷間を抜ける所に突如そんなに広くない盆地が開け、まだ紅葉期には早く木々が鬱蒼と繁るなか、如何にもじっくり学び学問をする環境を感じさせる所でした。

敷地内にその功績に感謝する社が、儒学の祖孔子を祭る社殿の横に立てられていました。四諸大名に共通するところは、自ら深く学問を修めるとともに、藩士や領民を教導し、仁政をほどこした点です。光政は中でも特に庶民教育に熱心であり、それを象徴するのが閑谷学校の創設でした。光政の学問遍歴は、最初は仏道、次に神道を経て儒道に至ります。その儒道も、初めは陽明学、最後にたどり着いたのが朱子学であるとされています。岡山藩主になった当初、盛んに寺院の建立、寺領の寄進、写経の寺院への施入を行っており、儒学開眼はそれ以後と言われています。そのきっかけを与えたのが熊沢蕃山（江戸前期の陽明学者で、岡山藩番頭をつとめた。）で、蕃山を通して近江の中江藤樹（江戸初期の儒学者で、その思想の特徴から「わが国陽明学の祖」といわれる。）を知ります。当時、岡山藩にも何力所か「文字読の師匠」を育成するための手習所が有りましたが、通学する子どもが減少し、軒並みに衰微しました。それを心配した光政は、閑谷の手習所を、講堂・聖堂を備えた学校にすることを考え、腹心の津田永忠に命じ、講堂を建て、茅葺きながら聖堂も完成させました。手習所が統合・全廃されるにあわせ、書籍・器具の類を閑谷学校に集め、閑谷学校は領内唯一の庶民教育の施設となりました。二年後には講堂の屋根を備前焼の黒瓦で葺きなおし、光政在世中に閑谷学校は完成しました。以後、多数の人材を輩出する学校となりました。例えば訪れた人に頼山陽・大塩平八郎・大原民声等、そして明治期に入ってからも学んだ人に山上武雄・三木露風・正宗白鳥・大原孫三郎などがいます。また、学校は多くの事を学ぶ場でもあるわけですが、一生の良き友人を得る場でもあります。上記の人たちを中心に切磋琢磨し、多くの場で活躍をする人材を排出しました。

多な情報も提供して頂きましたが、もう少し保護者の方々と話し合えたらと感じました。その時に、ある保護者の方からもっと多くの人にこの様な素晴らしい企画を伝えられないか、また別の方からは他の保護者の方から誘われて知ったと言う方もおられました。(勿論全ての生徒に黄色の用紙で案内していますが。)

大変遅くなっていますが、十二月初旬には、一部分工事中(HPで未完成の所)の状態です。東高ホームページをリニューアルします。学校概要・学校行事・緊急情報・部活動・PTA活動・東雲会等多種の情報を提供いたします。ホームページの良いところは、時々情報が更新される所だと思っています。更新されたら、時々ご覧頂けたらと思います。根本的更新は業者に委託しましたが、以後は校内の職員で行いますので、十分ではないかも知れませんが、お互いの情報交換の場としても活用して行きたいとも思います。今後とも、叱咤激励のほどをよろしくお願い致します。



閑谷学校講堂



備前焼市



倉敷美観地区 (元倉敷紡績跡)

第48回中国・四国地区 高等学校PTTA連合大会報告

総務主任 清井高志

七月十四日(金)に開催されました第四十八回中国・四国地区高等学校PTTA連合大会に、三島PTTA副会長様とともに参加させていただきました。特に今回の記念講演は、TV番組「行列のできる法律相談所」の出演で有名な弁護士住田裕子氏ということで、三島PTTA副会長様と出発時から楽しみにして出かけてまいりました。その内容は、ダイエットの体験から始まり、楽しく和やかな中にも母親として、弁護士として現代の少年犯罪等について、時に厳しく、そして示唆に富むものでした。研究協議会の報告に合わせてお伝えしたいと思います。

PTAがどのように支援してきたかという報告でした。以下、研究発表のレジュメにそって各内容の要旨を抜き出しました。

◎「こがーに荒れた学校はないよのー」

(「こんなにあれた学校はないよねー」)
昨年二月に放映されたNHKの番組「土曜インタビュー」で三宅民夫アナウンサーが発した第一声は、「こがーに荒れた学校はないよのー」(広島弁)である。つい数年前まで安西高校はそう見られていた。「喫煙や校内暴力が横行。授業中にもかかわらず携帯電話は使いたい放題、教室は出入りし放題。現役の暴走族やその予備軍が集まる学校といわれ、学校周辺を爆音をあげてオートバイが走り回ることもめずらしくはなかった。授業も学校生活も成り立たない。安西に行けば(悪いことは)何でもあると言われた」

(平成十六年一月十七日付け 産経新聞)

ギブ・アンド・ギブ

「学校は何をしているのか」から「学校に何を上げられるのか」ということをPTA集会や広報誌で保護者に訴え、学校の方針や取り組みを説明し、学校に任せっきりにせず、子どもと向き合って話し合うことや現状を知っ

て親も変わることの必要性を説いた。……略
PTAを募り最初に取り組んだのは、学校の掃除や壊れた箇所の修理であった。……略
平成十三年十二月には学校等を掃除する全国的なボランティア団体である「掃除に学ぶ会」の支援を受け、PTAや生徒約三〇〇人が集まり、第一回目のトイレ掃除を行った。当たり前のことを当たり前に

(やればできる あきらめるな)

草で覆われたグラウンドを保護者、教員、生徒が一緒になつて掃除をして、平成十四年十月に七年ぶりに復活した。……略
それに先立ち平成十三年九月から玄関前にテントを設置し、先生とPTAが登校してくる生徒に声をかけたり、服装や遅刻の指導をおこなった。前へ、前へ「チーム安西」

……略
学校の先生方や保護者が一体となつた取り組みによって生活規律は確立してきた。新たなステップとして学力向上が大きな課題である。

以上、報告書より

研究協議について

(1) 生活指導PTA

「当たり前のことを当たり前に」

広島県安西高等学校

PTA副会長 畠 ひろみ

広島県一荒れていた学校が、校長先生(女性校長)によって再生されていったことはNHKの番組でも紹介され、校長先生が全国で講演され、大変多くの方々がご存知のことと思います。その再生のための取り組みを、P

「学校は何をしているのか」から「学校に何を上げられるのか」という意識、あるいは考え方の転換から、お互いが遠慮せず、保護者と先生が本気になって取り組んでいた実践例でした。

「生徒の自主性を重んじて」「いえばわかる」「なぜ、トイレ掃除なんだ、こつした意

見にたじろいでいたのではいつまでたっても
変わらなかつたと思いますし、どんな理屈が
あるうとも、人として当たり前なんだという
強い意志がなければ実行できなかつたことと
思います。それぞれ、保護者にも先生にも十
分言い分もありますが、まず、目の前のこと
を学校と保護者が一緒にやってみようから始
まるのではないのでしょうか。

(2) 家庭教育とPTA

心の豊かさを育むための 家庭と学校の連携活動

～弁当を通して子どももの

「コミュニケーションを」

香川県立高松西高等学校

PTA会長 寶田 圭一

学校評価から八〇%以上の保護者が学校教育活
動に対して肯定的な回答をする中で、「学校は家
庭と連携した生徒への支援をしていますか」の問
いについては、比較的评价が低かつたことから、
PTA活動をとおして子ども達に何ができるのか
というところから今回の活動がはじまりました。
そして、「心の豊かさ」をテーマに三つの心、す
なわち感謝する心、感動する心、思いやる心を家
庭で養うためにPTAが出来ることをコンセプト
として取り組まれました。特に保健委員会の調査
の結果から、弁当普及率が高いことが分かり、弁
当を通して子どもとのコミュニケーションを研究

し、取り組まれた活動報告でした。

◎ 「心の豊かさ」を育むために

比較的恵まれた家庭環境の中で、子どもた
ちに「感謝する心」を養ってもらうために、
学校では、家庭科の授業時に、弁当を自分た
ちで作る経験をさせてくださいました。……
略。その結果、帰宅して空の弁当箱を出すだ
けでなく、弁当箱を自分で洗ったりするよう
になり、「今日は卵焼きがおいしかったよ。」
と家族のコミュニケーションが増えた子ども
もいました。一方「空の弁当を見ると、今日
も学校で頑張ってきた我が子の様子がわかっ
てうれしい。」と言つ保護者もいました。……
略。保護者に弁当持参の大切さを知ってもら
い、弁当づくりの参考にしてもらえることを
願ひ、保健委員会で「高校生の弁当づくり」
のリーフレットを作成して、七月の保護者面
談会の時に配布していただきました。
一年生の保護者全員が四月末日までに書い
た「保護者から（我が子へ）の手紙」を、六
月の大洲宿泊学習の時に学級担任の先生が子
どもたちに渡してくださいました。……略
自分たちが親の愛情に包まれて今日があるこ
とを改めて認識し、涙ぐむものもいると聞き
ました。子ども達にはこの活動を通して「感
動する心」を養っています。

子どもたちの「思いやる心」を養うために、保
健委員会では献血のお世話をしています。……略
また、血液センターの見学では、血液と献

血の大切さを学ぶことができます。

以上、報告書より

この香川県立高松西高等学校は、大学進学率も
高く、素直で真面目な生徒達が文武両道を掲げて
学習や、部活動に頑張っており、創立三十周年を
向かえるということで、本校と非常によく似た学
校といえます。また、学校評価の結果においても、
松江東高校とほぼ同様の結果を示しています。

松江東高校の心の問題への取り組みについては、
教育活動全体をとおしておこなっておりあります。例
えば、朝礼、終礼時に折に触れての担任の指導を
始め、生徒会活動としての挨拶運動、清掃活動、
ボランティア活動、全校集会時の集団行動等であ
ります。特に、本校では、学校目標に人権・同和
教育を掲げ、生徒の心の問題にアプローチをして
いるところですが、こうした香川県立高松西高等
学校の活動のように保護者と一体となった取り組
みは、学校としても非常に力強く、また、生徒へ
のインパクトも大きく、より教育効果を上げられ
るものと考えます。今後、検討してまいりたいと
思います。

(3) 「学習意欲と学力向上を考える」

……意欲・やる気を重視して

岡山県立津山高等学校

PTA会長 松田 欣也

文部科学省から、平成十五年度より平成十七年

度の三年間「学力向上フロンティアハイスクール」に指定され、さらに平成十六年度から平成十八年度までの三年間、岡山県から「パイオニアハイスクール」に指定された学校のPTA活動についての報告でした。

※パイオニアハイスクールとは、教員の意識改革や指導力の向上、学校運営の在り方や指導体制の見直し、学習指導の一層の充実により、生徒一人ひとりのもつ個性や能力の十分な伸長を図り、生徒の学力向上と進路希望の実現を、数値目標を明確にしつつ、総合的に推進する事業

◎ 学力向上フロンティアハイスクール事業での取り組み

社会人講師による職業紹介

生徒の進路に対する意識や学習意欲の一層の高揚を図ることを目的として、本校のPTA活動を含む社会人の方に講師をお願いして講演をしていただいている。……略

大学教授による学問紹介

生徒の進路に対する意識や学習意欲の一層の高揚を図ることを目的として、大学より講師を招き、特別講義をしていただいている。……略

セルフプランニング週間

生徒の家庭学習習慣を確立させるために、生徒自身によって理想的な家庭学習プランを立てさせ、その実行にチャレンジする習慣を設定している。……略

習熟度別授業

本校では、数学と英語の授業において習熟度別授業を実施している。……略

岡山県立津山高等学校での取り組みは、すでに松江東高校でも進められており、実績を残しています。ただし、松江東高校では、進路指導部が主体となって進めており、保護者の方へは説明と報告というスタンスをとっております。この岡山県立津山高等学校は、PTA活動として取り組まれているという点で、学校と保護者がどのような形で関わり合っているのか、今一つ分からない部分がありました。私としては、その点を知りたかったのですが、限られた時間でもありましたので聞けなくて残念でした。



記念講演

「今、高校生は？、
若者は？、そして心は？」

弁護士 住田 裕子

記念講演は、テレビ番組「行列のできる法律相談所」に出演されて有名な、弁護士の住田裕子氏のお話をお聞きすることが出来ました。講演は、終始、ユーモアを交え楽しく行われましたが、時には辛辣な内容にアツという間の一時間三十分でした。その内容について要旨を書き留めてまいりましたので、お読みいただきたいと思います。

1、ダイエットが成功したことについて

ダイエットは、好きなお酒を二ヶ月間やめて、食事を普通にとって筋力トレーニングと有酸素運動でやせることが出来た。ダイエットの失敗は、食事制限をして減量するとリバウンドするところであり、人間の体は、食事制限をした後は、生理的に急激に回復しようとする本来の力が働き、食べ物を大量に摂取する。また、食事制限は、足らない栄養を筋肉から補強しようとして、肝心の脂肪の燃焼にはつながらない。人間は、動くためにエネルギーが必要なので、エネルギー効率のいい炭水化物を摂取しながらダイエットを実行しなければならない。今、高校生の食生活を見ると、太るからといって、欠食

したりスナック菓子やジュースで食事をすませたりするのは、ダイエットにもつながらないし、危険でもある。

2、現代の少年犯罪について

現在、少年犯罪が多発しているといわれているが、以前と比べて特段に増えたわけではない。ただ、子どもの数が減ってきているので、それに比べて若干増えているという状況である。

今の犯罪は、昔の犯罪と大きく変わっている。昔は、貧しいことから、また、コンプレックスから犯罪に至ることがあったが、現代の犯罪は、貧しいであるとか、コンプレックスによるものではない。成績は優等生であったり、スポーツもよくでき、みんなからも明るい子といわれている子が犯罪をおこなっている。ただ、犯罪をおこなった青少年の鑑定を見ると、父母の教育ではなく、発達障害と書かれている。これには、臨床心理士があたりなければならぬし、親では無理である。また、鑑定書には、コミュニケーション能力、共感性がないとある。共感性がないとは、相手の立場に立って人の心が分からないこと。つまり、人の苦しみや心が分からないことをいう。現代は、パソコン、E.Tとパーチャルな世界に浸りきっていて、人間の温かさや身身の暖かさが伝わらない犯罪的な世界にのめり込んでいる。电脑の世界があるならば、身の世界を作るのが大人の責任ではないだろうか。もう一方でパソコンやチャットの問題がある

が、これは程度問題であり、昔の長電話が今の携帯であり、安らぎとして必要ではないかと考える。また、犯罪者の特徴は平気で嘘をつき、規範意識がないことである。私の小さい頃には規範意識の教育があった。小、中、高とやってはいけぬ事が甘くなっている。特に万引きについてそのように考えている。その原因は放任主義にあり、家庭にある。

外国とのアンケートの比較では、規範意識が低い。例えば、先生への反抗はよい。あるいは、本人の自由であるとの回答が日本では七九%、アメリカでは二〇%、中国では一〇%と極めて規範意識が低い。また、嘘をつかないと親からいわれたという回答では、他の国は五〇%に対して、日本では、一一%。先生の言うことを聞きなさいといわれたとの回答では、他の国では五〇%あるのに対して、日本は僅かであった。

この規範意識について、日本の子どもたちに「嘘をつかない」ということを誰から言われるかを問うと、ほとんどの子どもが「母親からよく言われる」と答えている。父親は、子どもに最低限の規範意識を教えないといえる。日本の父親は、家庭にとって社会の風をもってくる存在であり、規範意識を教えるというその役割を果たさなければならぬ。

3、子どもを育てることについて

子どもとの対話は、注意することだと思っている人がいるがそうではない。対話とは、一方的

な押しつけではなく、相手のことをよく聞く、聞き上手になることであり、分からないことはお互いが質問をしてよく話し合うことである。子どもの問題は親の問題である。勉強しなさいではなく、親が勉強をする姿を子どもに見せることである。親がよく読書をする姿を見せると子どもがよく勉強をするようになり、読書もするようになる。…略…そして、夫婦でよく語り合うことが大切である。

4、最後に

私は、現在、内閣府男女共同参画会議議員であることから、男女共同参画社会に向けて取り組んでいる。この男女共同参画社会への取り組みは、わが国の重要政策（四つの柱）の一つである。

- 1、経済財政諮問会議
- 2、防災対策（国土防災会議）
- 3、科学技術立国（日本は、科学技術で生きていく、知、技、ものづくり）
- 4、男女共同参画社会

男女共同参画社会とは、特に女性が力を発揮し頑張っていかなければならぬということである。さらに、少子高齢社会においては、六〇歳からパワーアップしていかなければならぬ。

※講演内容については、メモ書きにして聞き取りました。特に我国の政策名称について誤記があればご容赦ください。

平成18年度(第44回)県高校総体結果一覽

松江東高校

本年度(昨年度)

本年度(昨年度)

柔道

水泳

男子総合 得点 71点(24点) 順位 5位(19位)
 女子総合 得点 73点(46点) 順位 5位(8位)
 男女総合 得点 144点(70点) 順位 5位(11位)

【各部結果】

陸上競技

女子走高跳 決勝進出 澤 順子

男子3000M S C 決勝進出 門脇 鷹也

剣道 男 22点 女 5点

男子団体

一回戦 対浜田商 4・0で勝ち

二回戦 対松江北 4・1で勝ち

二回戦 対浜田 4・1で勝ち

準決勝 対出雲西 2・1で勝ち

決勝 対大社 0・4で負け(第2位)

女子団体

一回戦 対平田 で勝ち

二回戦 対大社 1・2で負け(ベスト8)

男子個人 六路 喬 ベスト16

石飛 涼介 ベスト32

女子個人 上山 千佳 ベスト16

内藤 瞳美 ベスト16

男子個人

66 kg級 予選リーグ敗退 豊島 隆太

73 kg級 予選リーグ敗退 山崎 賢太

90 kg級 予選リーグ敗退 小谷 隼人

弓道 女 8点

男子団体 予選敗退 (四十射二十一中)

男子個人 二回戦敗退

女子団体 予選7位 準決勝進出

総合五位 (四十射十八中)

女子個人 三回戦進出 小森さつき (十二射五中)

卓球 女 5点

男子団体 一回戦 3・0 情報科学

二回戦 0・3 出雲北陵

男子ダブルス

4組参加 二回戦までで敗退

男子シングルス

8名参加 三回戦までで敗退

女子団体 二回戦 3・0 浜田

三回戦 1・3 平田(ベスト8)

女子ダブルス 2組参加

野津 佑那・前田絵里佳組 ベスト16

女子シングルス 5名参加

野津 佑那 ベスト32

前田絵里佳 ベスト32

男子400M自由形 2位 徳島 洋

男子1500M自由形 1位 徳島 洋

男子50M自由形 6位 天野 駿

男子100M平泳ぎ 5位 天野 駿

女子100M自由形 6位 門脇 久美

女子200M自由形 6位 門脇 久美

バスケットボール 男 26点 女 20点

男子 1位

二回戦 129・57 平田

三回戦 110・59 大東

準々決勝 78・68 松江南

準決勝 81・68 松江高専

決勝 96・63 松江工業

ベスト5賞 内田 達大、松原 達也

女子 2位

二回戦 109・48 三刀屋

三回戦 74・45 出雲

準決勝 78・50 松江北

決勝 67・69 出雲北陵

ベスト5賞 秦 あかね

バレーボール 女 22点

男子 一回戦 0・2 出雲

女子 二回戦 2・1 浜田商業

三回戦 2・0 邇摩

四回戦 2・1 松江南

準決勝 2・0 松江北

決勝戦 0・2 開星 (第2位)

ハンドボール

男子 一回戦 29・9 江津

準決勝 11・20 松江南

3位決定戦 19・24 松江工業(第4位)

女子 一回戦 3・28 松江南

サッカー 男 9点

一回戦 3・2 出雲工業

三回戦 4・0 江津

準々決勝 2・3 松江北(ベスト8)

テニス 男 8点 女 5点

男子 総合 第5位

団体戦 3位

シングルス ベスト16
林 誠・近藤 真(中国大会出場)

女子 団体戦 三回戦敗退

シングルス ベスト32 長尾香菜子

ベスト32 福原香穂里

ソフトテニス

男子団体

一回戦 3・0 隠岐島前

二回戦 0・2 松江工業

男子個人

一回戦

福岡・金山 1・4 関遠藤(松江西)

二回戦

遠所・田辺 4・3 河野・大石(津和野)

杉原・団野 0・4 三好・岩田(松江北)

柏原・吉岡 1・4 高橋・飯田(横田)

三回戦

遠所・田辺 4・3 小中・古藤(松江商)

四回戦

遠所・田辺 4・3 藤井・安部(松江北)

女子団体 ベスト32

一回戦 松江東 2・1 出雲商業

二回戦 松江東 0・2 松江西

女子個人

青木茉莉子・荒金 恵美組 二回戦敗退

中村 友紀・荒川 裕美組 三回戦敗退

梶川 聡美・清水 朋美組 三回戦敗退

山本 有希・津田美優紀組 三回戦敗退

バドミントン 女 8点

男子学校対抗戦

一回戦 0・3 松江北

女子学校対抗戦

一回戦 3・1 出雲商業

準々決勝 2・3 松江北(ベスト8)

女子シングルス ベスト16

山蔭 智香・竹田夏菜子

女子ダブルス ベスト16

山蔭 智香・竹田夏菜子組

若槻みなみ・山坂友貴子組

澤野 夏美・田中 志歩組(女子総合第5位)

ボート 男 6点

男子 シングルスカル 4位 井川

ダブルスカル 優勝 本間・田原

(インターハイ出場権獲得)

女子 シングルスカル 優勝 田口

(インターハイ出場権獲得)

クオドルプル 2位
柿田 大矢根 林 平塚 三島

アーチエリー

女子団体 1位

男子団体 2位

女子個人 1位 角谷朝和子

2位 坂本百合菜

3位 佐々木菜穂

4位 高橋 由加

男子個人 7位 福村 翔平

平成18年度 松江地区高等学校野球大会

一回戦 8・2 松江北

二回戦 3・1 松江南

準決勝 2・7 立正大湊南

新任教職員 自己紹介



学校長
山田 忠男

私の教員生活も三十七年目を向かえました。その間十二個目の職場が東高となりました。初めて以前勤務した事のある学校です。ただ平成九年度と平成十年度の二カ年間で、多くの学校を経験させて頂いた結果十数名の先生方と過去どこかで一緒に勤務した事があることが私を非常に勇気づけてくれました。

東高校の思い出としてまず挙げられるのは、丁度昭和五十八年度スタートするとき、南高校に勤務をしていましたので、市内で県立普通高校が三校になり、共に新しい時代がはじまると

緊張した日々を送っていました。

また、九年前の勤務時代は、当時の岡本校長が生徒の自己選択・自己責任を強調され、英数国に生徒の選択による習熟度別学習を導入された時でした。その企画作成に参画しましたが、それが実際にスタートする平成十一年度に転勤となり、素晴らしい実践を体験できずに去ることがとても残念でした。今帰ってみて、形態が少々変わっていましたが、その精神がまだ生きていることに感動をおぼえています。私は教育には先見性が大切であると思っています。次代を担う人たちを育てるといふ素晴らしい責任の重い職業ですから。

いま、東高校が取り組んでいるSSH（スーパーサイエンスハイスクール）などは、将にその一環であると思います。今後とも、御支援・御協力のほどをよろしくお願いいたします。



日本史 2年学年付
テニス
吉田 昇

松江南高校から赴任いたしました。私が高校野球をしていた頃、東高が甲子園に出場しました。21R前の記念品や写真を見るたびにその当時のことが思い出されます。東高生の印象は、

きちんと掃除をするということと、おとなしい生徒が多いということです。日々の生活を通じて、多くの生徒と関わりながら生徒の長所を発見し、伸ばしていこうと思っています。



数学 1年学年付
囲碁 将棋
早見 富士夫

前任校は大東高校でした。それ以前も松江市内の二つの高校で合わせて十七年間勤務していたので、自分の気持ちとしては、また松江に戻ってきたという感じています。

東高に来て最初に感じたことは、学校の施設・設備が大変立派なことでした。そして生徒の皆さんも総じて学習意欲が高く勉強熱心で、「やはり普通高校はこうでなくては」と思いました。高校数学を少しでも分かりやすく、そして楽しく教えることができればと考えています。よろしくお願い致します。





数学 2年学年付
テニス 弦楽

竹本 佑子

松江北高から赴任してきました。四月当初は不安もありましたが、今では明るく素直な東高生と毎日を過ごさせていることを、とても嬉しく思っています。これからも皆さんと笑顔で過ごしていけるように頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。



生物 23 R 副担
ソフトテニス

有藤 克巳

このたび川本高校から赴任しました。十四年間山間部の高校を回り、十五年ぶりの松江の高校での勤務ということで、大きく環境も変わりともどうすることもまだ多いですが、東高という職場は私にとって非常に大きな刺激を感じました。特に、スパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の取り組みの一員として、島根大学の先生なども広く接して、自分自身研修を深めていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願います。



化学 24 R 副担
バレーボール

山根 真樹夫

今春、邑智郡の矢上高校から異動してきました。山に囲まれた生活から久しぶりに街に帰ってきました。広い敷地と冷房完備の教室、大きい体育館、中山間地の学校から見ると夢のような教育環境です。生徒の皆さんはよく挨拶してくれますし、学習への取り組みも積極的な人が多いように感じます。SSHの担当になりましたので、大学との交流を図りながら、理科好きの生徒が増えるように努力していきたいと思えます。



物理 15 R 正担
剣道

富塚 裕美

この春に大東高から東高へやって参りました。私は高校卒業まで北海道で育ちました。十年前、島根に来てしばらくは「何でここに来たの?」とか「何で物理なの?」と言われると明確な答えがでずに、迷子の宇宙人のような雰囲気を感じながら暮らしておりました。しかし今で

は、たくさんの方々に助けられて、島根が好きです。この地で、心の温かい人々に出会い、共に成長することができる幸せに感謝しています。よろしく願います。



英語 13 R 正担
演劇 陸上競技

河村 匡敏

今春松江東高校に赴任しました河村匡敏（まさとし）です。前年までは広島県との人事交流のため三年間広島県立福山誠之館高校で勤めていました。毎朝七時に部活動の朝練にやってくる生徒が「おはようございます」と挨拶してくれます。お互いに気持ちのよい挨拶ができる関係を、いつまでも持てるよう日々心がけていきたいと思えます。





英語 11R副担

剣道

山根 幸久

江津高校から参りました。以前、川津で一年間住んでいたこともあり、不思議な縁を感じております。廊下で生徒とすれ違つと、「おはようございます」とあいさつをしてくれるので、心地よく過ごしています。松江東高校で勤務させていたただきながら、たくさんのことを学んでいきたいと考えております。いろいろなと分らないことも多く右往左往していますが、多方面からご指導頂きますと喜びます。どうぞよろしくお願ひします。



養護教諭 2年学年付

華道

角 真左子

この春、島根大学教育学部附属中学校から赴任しました。十三年ぶりの高等学校勤務となります。東高で勤務し始めて、特に感心したことが三つあります。生徒の皆さんが挨拶をとてよくしてくれること、礼儀正しいこと、そして職員室などに積極的に質問に来ていることです。

このような皆さんと一緒に過ごせることに感謝しながら、少しでもお役に立てるよう勤めたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



事務主幹

丸 宏治

この四月の異動により、県庁土木部建築住宅課から転勤してきました。高校勤務は初めてのことです。

生徒の皆さんが、勉強や部活動に取り組む様子を見てみると、自分の高校時代が懐かしく思い出されます。また、早朝から図書館で自習したり、授業の合間をぬって先生に質問したり、力を合わせて部活動に取り組んでいる、それぞれに一生懸命な姿を見かけると、自分の子供の何年か先を思い描いて、楽しみな気持ちにもなります。

仕事柄、生徒の皆さんと接する機会はありませんが、皆さんが少しでも快適な学校生活を送ることができるように努めたいと思っています。よろしくお願ひします。



事務員

徳田 小通

この四月から高の嶺会の職員として勤めさせていただいています。初めての学校勤務で不安もありましたが、優しい先生方と明るい生徒さん達に囲まれて、楽しく仕事をしています。生徒さん達と触れ合う機会があまりないので、一緒に行く清掃は、私にとっても貴重な時間です。若さに圧倒されて、年齢のギャップを否応なしに感じさせられる毎日ですが、弾けるパワーをもらって頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。



P T A 会務報告

平成十八年度
平成十八年 四月 一日から
平成十八年十一月三十日まで

一、平成18年度PTA関係会長会(4/3)

二、平成18年度第1回PTA常任理事会
(5/7)

三、平成18年度PTA役員引継ぎ・第1回役員
会・総会・生徒活動後援会・学年PTA・
学級PTA生徒指導委員会(5/13)

総会議事

(1) 平成17年度会務報告

(2) 平成17年度学級徴収金諸会計決算
PTA

施設充実費

記念事業

進路指導費

生徒会

部活動振興費

学級費

(3) 平成18年度PTA役員選出

(4) 新旧役員挨拶

(5) 平成18年度事業計画

(6) 平成18年度学校徴収金諸会計予算

総会報告

(1) 松江東高等学校近況報告

教育方針、重点目標

人事異動

校務分掌および学級担任

各分掌の重点目標

平成17年度の生徒実績

SSH事業

生徒活動後援会議事

(1) 平成17年度生徒活動後援会決算

(2) 平成18年度生徒活動後援会役員選出

(3) 新旧役員挨拶

(4) 平成18年度生徒活動後援会会計予算

四、平成18年度PTA第2回役員会・生徒指導
委員会・研修委員会・広報委員会・休業日
学校開放運営委員会(6/24)

(1) 学校近況報告

(2) 今年度PTA活動について

五、第48回中国・四国地区高P連大会
岡山大会(7/14)

六、平成18年度PTA各地区支部総会

城東・川津・西津田(7/21)

安来・八束・隠岐(7/22)

本庄・東津田・朝酌(7/23)

竹矢・島根・野波(7/25)

持田・美保関(7/26)

(1) 学校近況報告

(2) 人権同和教育

(3) 意見交換

(4) 学年別懇談

(5) 次年度役員選出

七、第56回全国高P連大会 秋田大会(8/24)

八、平成18年度ガーデニング講習会(8/26)

九、東雲祭 文化の部(8/31・9/1)

ガーデニング作品展示

十、平成18年度第2回高P連評議員会並びに
安全互助会理事会(9/8)

十一、PTA研修旅行(10/14)

十二、高P連創立50周年記念式典

(於) サンラポーむらくも(10/28)

十三、PTA研修会(11/18)

講演「スーパーサイエンス
地球環境と放射線」

・放射性ヨウ素とヨウ素剤について・
講師 寺井邦雄氏



編・集・後・記

PTA会報「嵩山」第45号を皆様のお手許にお届けします。

本号には、七月に開催された中国・四国地区高等学校PTA連合大会の報告を頂いております。その中にテレビ番組で有名な住田弁護士による記念講演でのお話があり、現代の少年犯罪の要因として規範意識が低いことを指摘しておられました。特に父親は子供に最低限の規範意識を教えていないことで、その役割を考えさせられました。

今年も残りわずかとなりましたが、一日一日を大切に子供達を見守っていききたいと思えます。

終わりに、会報の発行にあたって原稿に御協力頂いた皆様有難うございました。PTA並びに学校関係職員の皆様の益々のご健康とご活躍をお祈りします。

平 江 国 雄

会報の発行にあたり、原稿をお寄せ頂いた皆様 有難うございました。

子供達が成長して行く中で、今現在の世の中の環境は、大変厳しいものになってきていると思います。

その様な中で、彼らは思春期の揺れる思いと共に、自分の中の missing piece (足りない何か) を探しているのではないのでしょうか。そうやって日々頑張っている彼らに、私達は何をすればいいのでしょうか。

時代は違っていますが、私達も彼らと同じ年齢の頃は、不安や悩みがあった筈です。今、また彼らの話を聞く事でそれがリアルにその頃の自分達とオーバーラップして「そうだったよね……」と、少しは理解してやる事が出来るかもしれません。

一人の大人として、親として、彼らの声を聴いてやりたいと思います。

天 野 礼 子

会報の発行にあたり、原稿にご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

最近話題の映画を子供と観に行きました。硫黄島での決戦を描いた戦争映画ですが、平和の有難味を強く感じさせられた作品でした。

我が子に願うことは、高校生活の中で友とよく学び、遊び、語り、人間として大事な部分を育んでもらいたいということです。そして

家庭の中でも会話を大切にし、良識を備えた一市民となるように尽くしてもらえれば、平和な世界を支えていくことができるのではないかと思います。友を大切にし、家族・周りの人を大切にし、そして自分を大切に幸いな人生を生きてもらいたいと願っています。

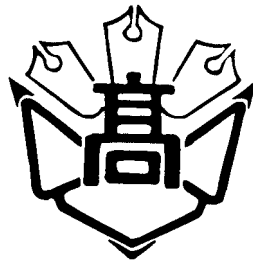
卒業後、子供達はあらゆる形で自分の夢の実現に向けて努力し、大なり小なり目標を達成していくことでしょう。その前に、この高校時代でしか教えられない大切なもの、人間としての心を育てるために、親として協力できればと思っています。

野 津 裕 子



今回の会報につきまして、発刊が大変遅くなりましたので深くお詫言ひ申し上げます。

松江東高校 総務部



表紙の絵 杉谷俊一（本校教員）

題 字

P T A会報 森脇 哲朗（旧本校教員）

嵩山 上田久美子（十三期生保護者）